

第4回 cMRI2公開シンポジウム

— 多角的ニューロイメージングの近未来 —

と き 平成30年2月19日 (月) 17:00~18:30

ところ 岩手医科大学創立60周年記念館 (内丸キャンパス循環器医療センター)
10階会議室 / 矢巾キャンパス本部棟4階中会議室 (中継)

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成により、平成26年度から「異分野融合による脳と心の健康のための介入的ニューロイメージング」プロジェクトがスタートしました。本プロジェクトでは、社会問題となっている認知症やうつ病などの高次脳機能・精神機能に関わる疾患の病態解明だけでなく、低侵襲な発症前診断や早期診断法の確立を目指しており、国民の脳と心の健康の維持増進に寄与するものと期待されます。今回のシンポジウムでは、最新の研究成果について報告します。

開会のあいさつ

祖父江 憲治 (学長)

第1部 血管・血管壁イメージング

座長：小笠原 邦昭 (脳神経外科学講座 教授)

◆ CFDを用いた頸動脈内膜剥離術中微小塞栓の術前予測

大志田 創太郎 (脳神経外科学講座)

◆ LSA領域脳梗塞患者における7T-MRIを用いたLSA再開通の検討

鈴木 隆史 (内科学講座神経内科・老年科分野)

第2部 脳機能イメージング

座長：佐原 資謹 (生理学講座病態生理学分野 教授)

◆ 脳機能イメージングを用いたミニマル肝性脳症の診断と病態解明の試み

佐藤 琢郎 (内科学講座消化器内科肝臓分野)

◆ 義歯治療による咬合力の上昇が脳活動に及ぼす影響

中里 文香 (補綴・インプラント学講座)

第3部 複合イメージング

座長：寺山 靖夫 (内科学講座神経内科・老年科分野 教授)

◆ 脳体積解析による精神・神経疾患へのアプローチ

山下 典生 (超高磁場MRI診断・病態研究部門)

◆ 膠芽腫における複合イメージングの応用

別府 高明 (脳神経外科学講座)

閉会のあいさつ

佐藤 洋一 (医学部長)